

認定NPO法人 北海道自由が丘学園・ともに人間教育をすすめる会

(振込先: 郵便局 02790-6-9847 北海道自由が丘学園をつくる会)

〒062-0051 札幌市豊平区月寒東1条15丁目5-11 TEL(011)858-1711 FAX(011)858-1333

URL <http://www.hokjioka.net> E-mail: [codmokan@agate.plala.or.jp](mailto:codmokan@agate.plala.or.jp)

支援会員・寄金 3,000円 (年額)  
\*会員には、本誌を配布します。



## 《写真説明》

< 12/13・大学生実習 >  
授業・行事・泊まり会・食育など  
無事終え、「終りの会」で生徒・  
学生でーコマ。ツリーも一緒。

## INDEX

P1: 巻頭言

P2: ヒューマントラスト 会費・集会

p3: ↓ /WAM 関連研修会

p4-5: 大学生実習/授業

p6: ↓、行事・泊り会他

p7: ↓、工作・食育

p8: エッセー、カンゲー、後記

.....  
(チラシ: 寺子屋・年次説明会)

## グレタさん達の時代 (、マララ「We must work...and not wait.」)

～若者が掲げ実践する正義は未来への礎 (待つてはいけない、私達は取組むべき)～

認定NPO 法人代表理事 吉野 正敏

昨年の地球気温は+1.2度と産業革命以降で2番目の高さでした。欧州熱波はフランス48度、ドイツ\*42度! オーストラリアの大規模森林火災は今も続いています。日本も昨年の異常気象由来の災害は世界ワースト1位とされています。しかし、土木工事以外にそれへの真剣な対策はみられません。

自然破壊や資源有限化など、環境問題は社会の持続性にとって重要なテーマですが、いまだ大量生産・消費や経済成長政策が唱えられ、結果“弱肉強食”、格差貧困が固定/拡大している現状があります。

とりわけ、地球温暖化が顕在化している時代に、すべての国がその対策を取るという「パリ協定」の実行を求めるグレタさん为先取とする昨秋の「グローバル気候マーチ」に185カ国760万人が参加したことや、更に5年前、恐怖と迫害の中で子ども・女性の教育(基本権、社会権)を示してノーベル平和賞\*を得たマララさんの存在は貴重です。(時に)1人の人間の勇気が時空を超えて大きな運動・大きな波となっていくことを示してくれました。日本でも呼応しだしています。

かつて歴史の先人は、衣食住などの資源は先祖からの贈り物、また未来からの借り物であり、枯渇させないという価値観を有していて、今もそれを旨とする民族(国)もあります。人類は様々な人種・宗教・年齢・性別などに分かれて、利権による紛争や排他的な動向、権力者の横暴が続いています。

その中で、人間一人ひとりの価値は同じであることを近代憲法は「基本的人権」として表現しました。教育学習権もその1つであるとユネスコ宣言は謳っています。改めて、(平和的)生存権・自由権・環境持続などと合せて、教育・環境分野\*の民主的発展に関わりたいものです。

注:ドイツは昨年総発電量で再生可能エネルギーが化石燃料を上回る。22年には全原発廃炉も決めている。デンマークは既に自然エネルギーが過半を占める。マララさんは上記受賞演説で「教室が空っぽのままなんて終わりにしよう(Let this be the last time that we see a child out of school.)。今すぐ「終わり」を始めよう」と締めた。尚、自由が丘「エコハウス」も稼働中。